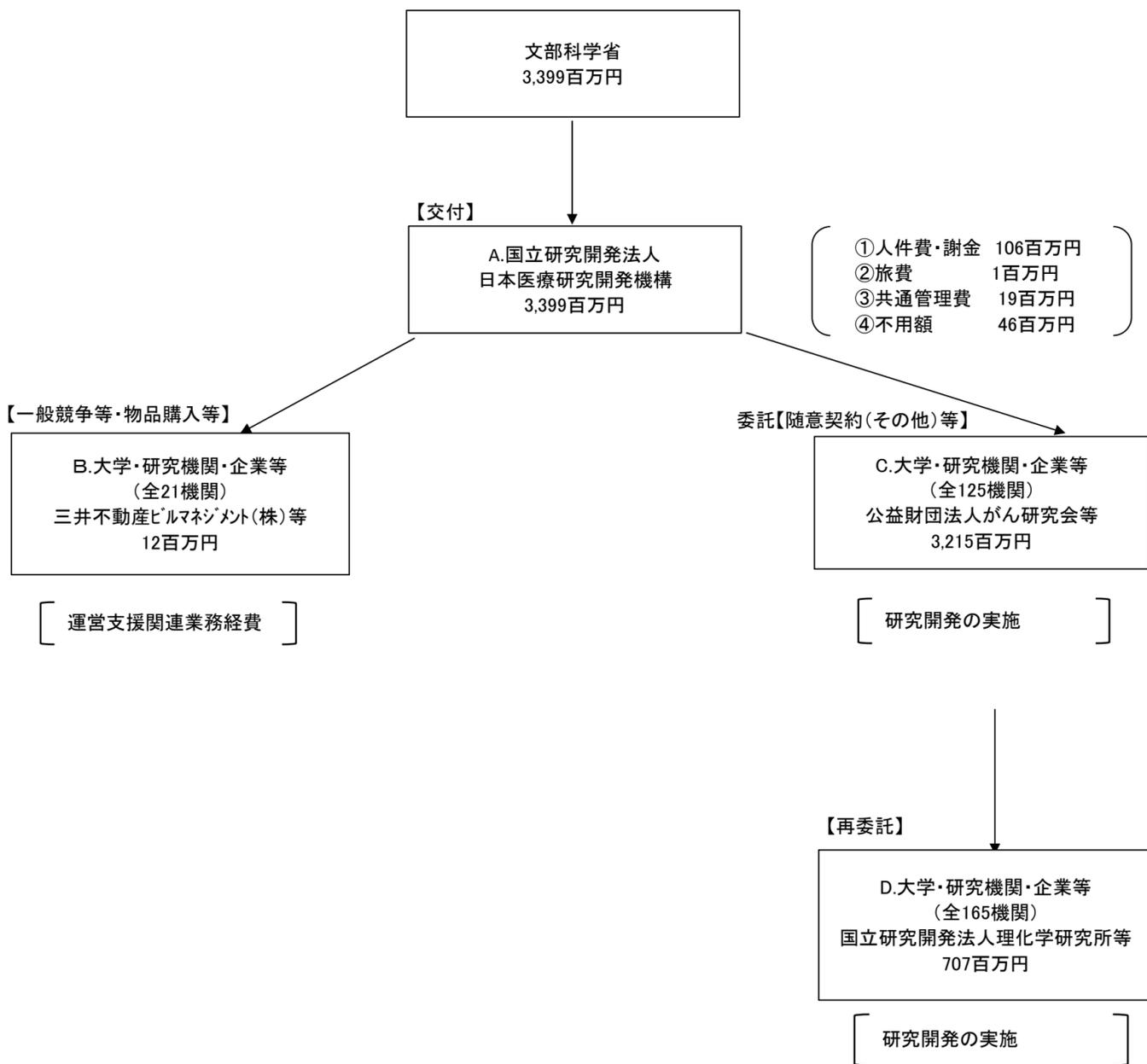


令和5年度行政事業レビューシート		( 文部科学省 )					
事業名	次世代がん医療加速化研究事業			担当部局	研究振興局	作成責任者	
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	令和10年度	担当課室	研究振興戦略官付	研究振興戦略官 大月 光康	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する計画、通知等	健康・医療戦略(第1期:平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日閣議決定)、医療分野研究開発推進計画(第1期:平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)、「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定)、「ハイオ戦略(基本的施策)」(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)、「がん対策推進基本計画」(令和5年3月28日閣議決定)、「がん研究10か年戦略」(平成26年3月31日 関係大臣決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-29.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	平均寿命は年々延びて男女ともに世界最高水準に達しており、1994年に14%、2007年に21%を超えた高齢化率(65歳以上人口割合)は、2018年には28.1%に達するなどますます高齢化が進んでいる。総人口が減少する中で高齢化率は今後も上昇が見込まれるとともに、現役世代の減少は加速し、2040年には現役世代1.5人で65歳以上の者1人を支えることになると予想される。加えて、健康寿命も順調に伸びており、2016年には男性72.14歳、女性74.79歳となっている。健康寿命と平均寿命との差、すなわち疾病などの健康上の理由により日常生活に制限のある不健康期間は、2010年から2016年の間に男女ともに約0.3年が短縮されたものの、依然として10年近くの期間を占めており、更なる短縮に向けた取組を実施することで、健康長寿社会の形成を目指す。以上を踏まえ、次世代がん医療の創生に向けて出口を意識した国際的にも質の高い基礎的研究を支援し、企業やAMED他事業への導出を進めるとともに、がんの本質の更なる追究に努め、臨床現場を大きく変革するような、新たな医薬品等の早期社会実装に繋がる研究開発の加速化を図ることで、日本のみならず、世界のがん患者やその家族の『希望』となる研究成果の創出に繋げる。						
現状・課題(5行程度以内)	「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)、「がん研究10か年戦略」(平成26年3月31日 関係大臣決定)等を踏まえ、がん患者のゲノム情報等の臨床データを活用した研究開発による新規創薬シーズの探索や、希少がん、難治性がん等を対象とした戦略的研究の推進、有望な基礎研究を応用研究以降のフェーズに引き上げ、加速化させるための専門的支援体制の整備・充実を通して、企業やAMED他事業への確実かつ迅速な成果導出と、臨床現場を大きく変革するような新たながん治療・診断医薬品等の早期社会実装を目指す。また、「医療用等ラジオアイソトープ製造・利用推進アクションプラン」(令和4年5月原子力委員会)及び「骨太の方針2022」を踏まえ、令和5年度からは、医療用RIを活用したがん治療創薬や核医学診断・治療に向けた技術開発、アンメットメディカルニーズ等に基づく戦略的研究開発への支援を推進・強化する。						
事業概要(5行程度以内)	「次世代がん医療加速化研究事業」は、「がん研究10か年戦略」(平成26年3月31日 関係大臣決定)等に基づき、「がんの根治・予防・共生」の観点に立ち、患者・社会と協働するがん研究を推進し、特に、革新性・独自性が高く、国際競争力のある基礎的研究に目を向け、がんの本態解明に迫る「真理の探究」、「基本原理の解明」や「新たな知の発見、創出や蓄積」の深化を図り、治療・診断の標的としての妥当性を検証することで、それらの基礎的研究成果を踏まえた次世代がん治療・診断法の迅速な社会実装に向けた研究開発を加速・展開している。本事業は、シーズ探索や、創薬ツール開発のための研究を行う「探索研究フェーズ」と独創的かつ優位性の高い有望な創薬や診断等のシーズを検証し、実用化に向けて加速させる「応用研究フェーズ」を中心にごがん研究を推進し、斬新でかつ挑戦的な研究課題を厳選し、質の高いアカデミアシーズを計画的かつ必要とする創薬技術支援を効率良く充当させることで、事業目標の達成を目指す。						
事業概要URL	https://www.amed.go.jp/program/list/11/01/007.html						
実施方法	補助						
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施する次世代がん医療加速化研究事業について、当該経費の補助を行うもの【補助率:定額】						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	2	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲2	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	3,549	3,553	3,399	3,399	3,916
		執行額(G)	3,549	3,553	3,399		
		執行率(%) =(G)/(F)	100%	100%	100%		
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	100%	100%	100%		
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	研究開発推進費		重要政策推進枠 763百万円				
(目)	医療研究開発推進事業費補助金	3,399	3,916				
	その他						
計(A)		3,399	3,916				

<p>活動内容① (アクティビティ)</p>	<p>「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)に基づき、がんの生物学的本態解明に迫る研究開発や、患者のがんゲノム情報等の臨床データに基づいた研究開発及び個別化治療に資する診断薬・治療薬の開発や免疫療法や遺伝子治療等をはじめとする新しい治療法の開発を推進する。</p>								
↓									
<p>活動目標及び活動実績① (アウトプット)</p>	<p>活動目標</p>	<p>活動指標</p>	<p>単位</p>	<p>令和2年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>5年度 活動見込</p>	<p>6年度 活動見込</p>	
	<p>研究課題の支援</p>	<p>研究課題の支援件数 ※令和6年度活動見込みは、令和6年度予算額に基づき設定するため未記載。 ※前身事業の支援件数も含む。</p>	<p>活動実績</p>	<p>件</p>	<p>137</p>	<p>147</p>	<p>125</p>	<p>-</p>	<p>-</p>
			<p>当初見込み</p>	<p>件</p>	<p>137</p>	<p>147</p>	<p>125</p>	<p>151</p>	<p>-</p>
<p>↓</p> <p>成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)</p>	<p>本事業では、研究機関等に所属する研究者を採択し、科学研究費助成事業等を活用した基礎研究と開発研究のギャップを埋める、将来の革新的ながん医療の実現を目指した、創薬シーズの探索を目的とした研究等を推進している。これらの研究成果の応用研究への進展を定量的に評価するため、「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)に基づき、非臨床POCの取得件数を短期アウトカムとして設定する。</p>								
<p>成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)</p>	<p>成果目標</p>	<p>定量的な成果指標</p>	<p>単位</p>	<p>令和2年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>目標年度 6年度</p>		
	<p>研究開発対象のコンセプトの検証を踏まえ、有用性の高いがん治療薬や早期診断法の開発に繋がるシーズを同定</p>	<p>非臨床 POCの取得件数 (令和2年～令和6年で累計25件)</p>	<p>成果実績</p>	<p>件</p>	<p>45</p>	<p>36</p>	<p>47</p>	<p>-</p>	
			<p>目標値</p>	<p>件</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	<p>5</p>	
			<p>達成度</p>	<p>%</p>	<p>900</p>	<p>720</p>	<p>940</p>	<p>-</p>	
<p>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</p>	<p>「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部改定 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)における医薬品プロジェクトの成果目標(KPI)に基づき設定。 ※達成目標の25件については、3省(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)の合計の目標値であるが、本件については各省連携の下に一貫した支援を行っており、各省ごとに目標値を按分することができないことから、実績値・目標値とも3省の合計とする。 ※各年度の目標値は25件÷5年=5件/年とする。</p>								
<p>↓</p> <p>成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)</p>	<p>本事業は、「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部変更 閣議決定)に基づき、医薬品プロジェクトにおける基礎研究及び応用研究のフェーズに位置付けられている。がんの発症・進展のメカニズムの解明の著しい進捗や、有用性の高いがん治療薬や早期診断法の開発に繋がる具体的なシーズについて、研究をさらに発展させることにより、実用化に向けた企業導出や非臨床試験、それに続く臨床への応用など、次のステージに研究開発を進めるため、「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)に基づき、シーズの企業への導出件数を長期アウトカムとして設定する。</p>								
<p>成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)</p>	<p>成果目標</p>	<p>定量的な成果指標</p>	<p>単位</p>	<p>令和2年度</p>	<p>令和3年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>目標最終年度 6年度</p>		
	<p>実用化に向けた企業導出や非臨床試験(薬物動態・安全性試験)等に到達</p>	<p>シーズの企業への導出件数 (令和2年～令和6年で累計60件)</p>	<p>成果実績</p>	<p>件</p>	<p>40</p>	<p>47</p>	<p>48</p>	<p>-</p>	
			<p>目標値</p>	<p>件</p>	<p>12</p>	<p>12</p>	<p>12</p>	<p>12</p>	
			<p>達成度</p>	<p>%</p>	<p>333.3</p>	<p>391.7</p>	<p>400</p>	<p>-</p>	
<p>成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績</p>	<p>「健康・医療戦略」(令和3年4月9日一部改定 閣議決定)に基づく「医療分野研究開発推進計画」(令和3年4月6日一部変更 健康・医療戦略推進本部決定)における医薬品プロジェクトの成果目標(KPI)に基づき設定。 ※達成目標の60件については、3省(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)の合計の目標値であるが、本件については各省連携の下に一貫した支援を行っており、各省ごとに目標値を按分することができないことから、実績値・目標値とも3省の合計とする。 ※各年度の目標値は60件÷5年=12件/年とする。</p>								
<p>アウトカム設定について の説明</p>	<p>アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由</p>								
	<p>—</p>								
	<p>アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由</p>								
	<p>—</p>								
<p>事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等 該当箇所</p>	<p>名称</p> <p>健康・医療戦略(令和2年3月27日閣議決定、令和3年4月9日一部変更)、医療分野研究開発推進計画(令和3年4月6日健康・医療戦略推進本部決定)</p>	<p>URL</p> <p><a href="https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryuu/senryaku/index.html">https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryuu/senryaku/index.html</a></p>	<p>該当箇所</p> <p>18,19頁</p>						



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	医療分野の研究開発	3,399	その他	会議室レンタル	3
計		3,399	計		3
C.			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	備品、消耗品当の購入費用	699	物品費	備品、消耗品当の購入費用	115
間接経費	研究遂行に関連して必要な経費	303	間接経費	研究遂行に関連して必要な経費	54
人件費・謝金	人件費、謝金	178	人件費・謝金	人件費、謝金	33
その他	印刷費、外注費等	128	その他	印刷費、外注費等	30
旅費	旅費	6	旅費	旅費	1
計		1,314	計		233

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載  チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	9010005023796	医療分野の研究開発	3,399	補助金等交付	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	三井不動産ビルマネジメント株式会社	4010001129759	会議室レンタル	3	随意契約(その他)	-	-	
2	株式会社マックスパート 集計	8010001069555	会議室レンタル	2	随意契約(少額)	-	-	
3	株式会社スリーライト	6010001047835	運営支援	2	随意契約(少額)	-	-	
4	扶桑速記印刷株式会社	9010001027784	出張録音速記、文字おこし	2	一般競争契約(最低価格)	2	97.3%	
5	特定非営利活動法人医療ネットワーク支援センター	2013405000693	運営支援	0.5	随意契約(少額)	-	-	
6	コーユー/テックス株式会社	1010401063569	パソコンレンタル	0.5	随意契約(少額)	-	-	
7	和・創造堂株式会社	2120101060664	運営支援	0.3	随意契約(少額)	-	-	
8	株式会社オフィス・ミット	3011201004372	YouTubeチャンネル用映像制作	0.3	随意契約(少額)	-	-	
9	株式会社SSマーケット	7010101010238	パソコンレンタル	0.3	随意契約(少額)	-	-	
10	株式会社Swimmy	8010401148405	速記、文字おこし	0.3	一般競争契約(最低価格)	3	74.5%	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人がん研究会	1010605002372	22ama221409h0001:糖鎖プロファイリング技術を基盤とした免疫チェックポイント阻害剤効果予測モデルの確立を目指した研究(他10課題)	1,314	随意契約(その他)	-	-	
2	国立大学法人東京大学	5010005007398	22ama221506h0001:骨髄異形成症候群の薬剤感受性に基づいた疾患分類と臨床応用(他13課題)	294	随意契約(その他)	-	-	
3	国立研究開発法人国立がん研究センター	6010005015219	22ama221103h0001:エピゲノム制御因子を標的とする革新的がん治療法の開発(他16課題)	248	随意契約(その他)	-	-	
4	国立大学法人京都大学	3130005005532	22ama221101h0001:RNAスプライシング変異を有する難治性腫瘍に対する新規治療薬の創生(他10課題)	201	随意契約(その他)	-	-	
5	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	22cm0106186h0002:BRCAnessの薬理的誘導によるPARP阻害剤臨床用途の新たな開拓(他8課題)	123	随意契約(その他)	-	-	
6	愛知県がんセンター	-	22ama221106h0001:多量体型チロシンキナーゼを標的とした革新的がん治療法の開発(他5課題)	105	随意契約(その他)	-	-	
7	国立大学法人金沢大学	2220005002604	22ama221102h0001:悪性化に伴う栄養代謝制御を標的とした革新的がん治療に関する研究開発(他6課題)	86	随意契約(その他)	-	-	
8	国立大学法人東京医科歯科大学	6010005007397	22ama221205h0001:口腔がん微小環境ネットワークの制御による多角的がん治療法の開発(他2課題)	56	随意契約(その他)	-	-	
9	学校法人慶應義塾	4010405001654	22ama221112h0001:神経線芽腫の増殖ストレス緩和システムを標的とする新規がん治療戦略の確立(他2課題)	49	随意契約(その他)	-	-	
10	国立大学法人岡山大学	2260005002575	22cm0106179h0003:次世代抗がん剤の創成を目指したtRNAエドヒトランスクリプトーム阻害剤の開発(他1課題)	28	随意契約(その他)	-	-	

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人理化学研究所	1030005007111	22ama221001s0201:次世代がん医療加速化研究事業における先進的技術支援と効率的推進マネジメント(他3課題)	233	随意契約(その他)	-	-	
2	国立大学法人東京大学	5010005007398	22ama221001s0101:次世代がん医療加速化研究事業における先進的技術支援と効率的推進マネジメント(他21課題)	110	随意契約(その他)	-	-	
3	次世代天然物化学技術研究組合	6010605002392	22ama221001s030:次世代がん医療加速化研究事業における先進的技術支援と効率的推進マネジメント	82	随意契約(その他)	-	-	
4	国立大学法人京都大学	3130005005532	22cm0106183s0302:1 炭素代謝酵素とミトコンドリア機能の包括的理解による乳がんの革新的治療法の確立(他7課題)	23	随意契約(その他)	-	-	
5	公立大学法人和歌山県立医科大学	3170005001874	22ama221001s0701:次世代がん医療加速化研究事業における先進的技術支援と効率的推進マネジメント(他1課題)	21	随意契約(その他)	-	-	
6	国立大学法人東北大学	7370005002147	22ama221301s0101:腫瘍浸潤細胞の時間的空間的変化に基づく免疫抑制機構の解明と治療への展開(他2課題)	13	随意契約(その他)	-	-	
7	国立研究開発法人国立がん研究センター	6010005015219	22cm0106478s0103:難治性食道癌におけるPrecision Medicineに資する診断技術開発に関する研究(他10課題)	12	随意契約(その他)	-	-	
8	国立大学法人東海国立大学機構	3180005006071	22ama221215s0101:腫瘍微小環境の代謝ネットワークを制御するAIセラノスティクスの開発(他3課題)	9	随意契約(その他)	-	-	
9	公立大学法人横浜市立大学	5020005005343	22ama221112s0401:神経線芽腫の増殖ストレス緩和システムを標的とする新規がん治療戦略の確立(他2課題)	8	随意契約(その他)	-	-	
10	KOTAIバイオテクノロジー株式会社	7120001198600	22cm0106383s0102:ゲノム異常を有する腫瘍浸潤リンパ球の1細胞解析方法の開発とその臨床的意義の解明(他1課題)	8	随意契約(その他)	-	-	
11	国立大学法人東京工業大学	9013205001282	22ama221116s0101:Ribosome biogenesisを標的としたRAS変異大腸がんの治療法開発(他1課題)	8	随意契約(その他)	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	